

【表紙】

| | |
|------------|--|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成26年8月7日 |
| 【四半期会計期間】 | 第46期第1四半期（自平成26年4月1日至平成26年6月30日） |
| 【会社名】 | 興銀リース株式会社 |
| 【英訳名】 | IBJ Leasing Company, Limited |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 大西 節 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都港区虎ノ門一丁目2番6号 |
| 【電話番号】 | (03)5253-6511（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役企画部長 丸山 伸一郎 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都港区虎ノ門一丁目2番6号 |
| 【電話番号】 | (03)5253-6511（代表） |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役企画部長 丸山 伸一郎 |
| 【縦覧に供する場所】 | 興銀リース株式会社大阪営業部 （大阪府大阪市中央区高麗橋四丁目1番1号） 興銀リース株式会社大宮支店 （埼玉県さいたま市大宮区宮町二丁目96番1号） 興銀リース株式会社名古屋支店 （愛知県名古屋市中区錦一丁目11番11号） 興銀リース株式会社神戸支店 （兵庫県神戸市中央区京町69番地） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第45期 第1四半期 連結累計期間 | 第46期 第1四半期 連結累計期間 | 第45期 |
|----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | 自平成25年 4月1日 至平成25年 6月30日 | 自平成26年 4月1日 至平成26年 6月30日 | 自平成25年 4月1日 至平成26年 3月31日 |
| 売上高 (百万円) | 86,809 | 84,577 | 354,779 |
| 経常利益 (百万円) | 5,962 | 4,756 | 17,405 |
| 四半期(当期)純利益 (百万円) | 3,587 | 2,949 | 10,531 |
| 四半期包括利益又は 包括利益 (百万円) | 4,157 | 3,196 | 13,410 |
| 純資産額 (百万円) | 88,034 | 111,729 | 109,840 |
| 総資産額 (百万円) | 1,364,148 | 1,432,262 | 1,462,183 |
| 1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円) | 99.11 | 69.16 | 264.75 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 (%) | 6.1 | 7.5 | 7.2 |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、主要な関係会社の異動は以下のとおりであります。

(賃貸及び貸付セグメント)

アズリード・ビジネス・コーポレーション(株)は清算したため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動から個人消費に落ち込みがみられたものの、企業収益の底堅い推移などを背景に緩やかに回復基調で推移しました。足もと、米国における金融政策の動向や欧州のデフレ懸念等から世界経済の先行きに不透明感が残るものの、国内では政府の成長戦略により中長期的には更なる景気の改善が見込まれ、企業の設備投資は一層の拡大が期待されます。

なお、こうした国内外の経済動向を見据え、当社グループは本年4月より「新たな成長への挑戦」をテーマとする3ヵ年の第4次中期経営計画をスタートさせました。計画に掲げた基本戦略を軸に、事業環境や社会構造の変化に伴い多様化するビジネスニーズに対応し、営業資産と収益の更なる拡充を進めてまいります。

当第1四半期連結累計期間の営業状況につきましては、リース、割賦、貸付及びその他の契約実行高の合計は、内需型産業における投資ニーズの捕捉に注力したこと等により前年同期（平成25年6月期）比12.1%増加の185,841百万円となりました。

リース・割賦につきましては、リースの契約実行高は前年同期比1.2%増加の70,571百万円、割賦の契約実行高は同12.1%増加の14,074百万円となりました。金融分野につきましては、貸付の契約実行高は前年同期比20.7%増加の100,559百万円、その他の契約実行高は636百万円となりました。

損益状況につきましては、売上高は前年同期（平成25年6月期）比2.6%減少の84,577百万円となり、貸倒引当金戻入益の縮小から、営業利益は前年同期比21.6%減少の4,551百万円、経常利益は同20.2%減少の4,756百万円、四半期純利益は同17.8%減少の2,949百万円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。（売上高は外部顧客への売上高を記載しております。）

〔賃貸〕

賃貸の売上高は前年同期（平成25年6月期）比5.9%減少して76,407百万円となり、貸倒引当金戻入益の縮小から営業利益は同20.3%減少して4,210百万円となりました。

〔割賦〕

割賦の売上高は前年同期比79.8%増加して5,545百万円となりましたが、営業利益は同20.8%減少して123百万円となりました。

〔貸付〕

貸付の売上高は前年同期比12.1%増加して1,879百万円となりましたが、営業利益は同7.9%減少して993百万円となりました。

〔その他〕

その他の売上高は前年同期比11.9%減少して745百万円となり、営業利益は同18.2%減少して294百万円となりました。

財政状態につきましては、リース、割賦、貸付及びその他の営業資産残高の合計は前期（平成26年3月期）末比1.2%減少の1,326,899百万円となりました。

セグメント別では、リースの残高は前期末比0.4%増加の812,562百万円、割賦の残高（割賦未実現利益控除後）は同0.9%減少の132,098百万円、貸付の残高は同0.7%減少の356,992百万円、その他の残高は同38.0%減少の25,245百万円となりました。

有利子負債残高につきましては、前期（平成26年3月期）末比0.4%減少の1,220,784百万円となりました。

内訳は、短期借入金が前期末比6.9%減少の275,162百万円、長期借入金が同1.5%減少の439,112百万円、コマーシャル・ペーパーが同2.8%増加の426,500百万円、社債が同33.3%増加の40,000百万円、債権流動化に伴う支払債務が略横ばいの40,009百万円となりました。

また、純資産合計は111,729百万円、自己資本比率は7.5%となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

(4) 契約実行高

当第1四半期連結累計期間における契約実行高の実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | | 契約実行高（百万円） | 前年同期増減率（％） |
|----------|--------------|------------|------------|
| 賃 貸 | ファイナンス・リース | 48,073 | 28.7 |
| | オペレーティング・リース | 22,498 | 861.1 |
| | | 70,571 | 1.2 |
| 割 賦 | | 14,074 | 12.1 |
| 貸 付 | | 100,559 | 20.7 |
| その他 | | 636 | 716.8 |
| 合計 | | 185,841 | 12.1 |

(注) 賃貸セグメントについては、当第1四半期連結累計期間に取得した賃貸用資産の取得金額、割賦セグメントについては、割賦債権から割賦未実現利益を控除した額を表示しております。

(5) 営業資産残高

営業資産残高をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | | 前連結会計年度 | | 当第1四半期連結会計期間 | |
|----------|--------------|---------------|--------|---------------|--------|
| | | 期末残高 （百万円） | 構成比（％） | 期末残高 （百万円） | 構成比（％） |
| 賃 貸 | ファイナンス・リース | 753,774 | 56.1 | 736,981 | 55.5 |
| | オペレーティング・リース | 55,725 | 4.2 | 75,580 | 5.7 |
| | | 809,499 | 60.3 | 812,562 | 61.2 |
| 割 賦 | | 133,267 | 9.9 | 132,098 | 10.0 |
| 貸 付 | | 359,530 | 26.8 | 356,992 | 26.9 |
| その他 | | 40,749 | 3.0 | 25,245 | 1.9 |
| 合計 | | 1,343,046 | 100.0 | 1,326,899 | 100.0 |

(注) 割賦セグメントについては、割賦債権から割賦未実現利益を控除した額を表示しております。

(6) 営業実績

第1四半期連結累計期間における営業実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間

| セグメントの名称 | | 売上高 (百万円) | 売上原価 (百万円) | 差引利益 (百万円) | 資金原価 (百万円) | 売上総利益 (百万円) |
|----------|--------------|--------------|---------------|---------------|---------------|----------------|
| 賃 貸 | ファイナンス・リース | 70,133 | - | - | - | - |
| | オペレーティング・リース | 11,067 | - | - | - | - |
| | | 81,201 | 72,957 | 8,244 | 982 | 7,261 |
| 割 賦 | | 3,084 | 2,482 | 602 | 131 | 470 |
| 貸 付 | | 1,676 | 61 | 1,614 | 392 | 1,222 |
| その他 | | 845 | 182 | 663 | 50 | 612 |
| 合計 | | 86,809 | 75,684 | 11,125 | 1,557 | 9,567 |

(注) セグメント間取引については相殺消去しております。

当第1四半期連結累計期間

| セグメントの名称 | | 売上高 (百万円) | 売上原価 (百万円) | 差引利益 (百万円) | 資金原価 (百万円) | 売上総利益 (百万円) |
|----------|--------------|--------------|---------------|---------------|---------------|----------------|
| 賃 貸 | ファイナンス・リース | 66,573 | - | - | - | - |
| | オペレーティング・リース | 9,833 | - | - | - | - |
| | | 76,407 | 68,567 | 7,839 | 1,002 | 6,837 |
| 割 賦 | | 5,545 | 5,015 | 529 | 143 | 386 |
| 貸 付 | | 1,879 | 154 | 1,724 | 413 | 1,311 |
| その他 | | 745 | 182 | 562 | 34 | 528 |
| 合計 | | 84,577 | 73,920 | 10,657 | 1,594 | 9,062 |

(注) セグメント間取引については相殺消去しております。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 140,000,000 |
| 計 | 140,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第1四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成26年6月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成26年8月7日) | 上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引 業協会名 | 内容 |
|------|--|----------------------------|------------------------------------|---------------|
| 普通株式 | 42,649,000 | 42,649,000 | 東京証券取引所 (市場第一部) | 単元株式数 100株 |
| 計 | 42,649,000 | 42,649,000 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総 数増減数 (千株) | 発行済株式総 数残高 (千株) | 資本金増減額 (百万円) | 資本金残高 (百万円) | 資本準備金増 減額 (百万円) | 資本準備金残 高(百万円) |
|--------------------------|------------------------|-----------------------|-----------------|----------------|-----------------------|------------------|
| 平成26年4月1日～ 平成26年6月30日 | - | 42,649 | - | 17,874 | - | 15,794 |

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成26年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成26年6月30日現在

| 区分 | 株式数（株） | 議決権の数（個） | 内容 |
|----------------|-----------------|----------|----|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式（自己株式等） | | | |
| 議決権制限株式（その他） | | | |
| 完全議決権株式（自己株式等） | 普通株式 500 | | |
| 完全議決権株式（その他） | 普通株式 42,644,100 | 426,441 | |
| 単元未満株式 | 普通株式 4,400 | | |
| 発行済株式総数 | 42,649,000 | | |
| 総株主の議決権 | | 426,441 | |

(注) 「完全議決権株式（その他）」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が100株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数1個が含まれております。

【自己株式等】

平成26年6月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数（株） | 他人名義所有株式数（株） | 所有株式数の合計（株） | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％） |
|------------|-----------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| 興銀リース株式会社 | 東京都港区虎ノ門一丁目2番6号 | 500 | | 500 | 0.00 |
| 計 | - | 500 | | 500 | 0.00 |

2 【役員 の 状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日) |
|-------------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 37,681 | 23,941 |
| 受取手形及び売掛金 | 77 | 193 |
| 割賦債権 | 133,777 | 132,613 |
| リース債権及びリース投資資産 | 753,774 | 736,981 |
| 営業貸付金 | 244,842 | 229,098 |
| その他の営業貸付債権 | 114,587 | 127,894 |
| 営業投資有価証券 | 40,749 | 25,245 |
| その他の営業資産 | 99 | - |
| 賃貸料等未収入金 | 4,779 | 3,795 |
| 有価証券 | 124 | 122 |
| 繰延税金資産 | 1,433 | 1,340 |
| その他の流動資産 | 26,355 | 26,324 |
| 貸倒引当金 | 2,326 | 2,068 |
| 流動資産合計 | 1,355,958 | 1,305,482 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 賃貸資産 | | |
| 賃貸資産 | 55,437 | 75,307 |
| 賃貸資産前渡金 | - | 33 |
| 賃貸資産合計 | 55,437 | 75,340 |
| 社用資産 | | |
| 社用資産 | 3,199 | 3,162 |
| 社用資産合計 | 3,199 | 3,162 |
| 有形固定資産合計 | 58,637 | 78,503 |
| 無形固定資産 | | |
| 賃貸資産 | | |
| 賃貸資産 | 287 | 273 |
| 賃貸資産合計 | 287 | 273 |
| その他の無形固定資産 | | |
| のれん | 335 | 320 |
| ソフトウェア | 4,429 | 4,242 |
| その他 | 20 | 20 |
| その他の無形固定資産合計 | 4,785 | 4,582 |
| 無形固定資産合計 | 5,073 | 4,856 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 24,261 | 24,896 |
| 破産更生債権等 | 11,404 | 10,815 |
| 繰延税金資産 | 1,866 | 3,156 |
| その他の投資 | 7,309 | 6,819 |
| 貸倒引当金 | 2,327 | 2,268 |
| 投資その他の資産合計 | 42,514 | 43,419 |
| 固定資産合計 | 106,225 | 126,779 |
| 資産合計 | 1,462,183 | 1,432,262 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 76,625 | 50,994 |
| 短期借入金 | 295,415 | 275,162 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 158,109 | 141,780 |
| コマーシャル・ペーパー | 414,900 | 426,500 |
| 債権流動化に伴う支払債務 | 40,022 | 40,009 |
| リース債務 | 11,277 | 10,454 |
| 未払法人税等 | 1,635 | 2,792 |
| 割賦未実現利益 | 510 | 514 |
| 賞与引当金 | 609 | 200 |
| 役員賞与引当金 | 76 | 6 |
| 債務保証損失引当金 | 70 | 73 |
| その他の流動負債 | 19,712 | 17,983 |
| 流動負債合計 | 1,018,965 | 966,473 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 30,000 | 40,000 |
| 長期借入金 | 287,827 | 297,331 |
| 役員退職慰労引当金 | 54 | 24 |
| 退職給付に係る負債 | 2,328 | 2,204 |
| 受取保証金 | 11,293 | 12,385 |
| その他の固定負債 | 1,873 | 2,113 |
| 固定負債合計 | 333,377 | 354,059 |
| 負債合計 | 1,352,342 | 1,320,533 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 17,874 | 17,874 |
| 資本剰余金 | 16,086 | 16,086 |
| 利益剰余金 | 66,535 | 68,291 |
| 自己株式 | 0 | 0 |
| 株主資本合計 | 100,495 | 102,250 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,508 | 3,872 |
| 繰延ヘッジ損益 | 158 | 92 |
| 為替換算調整勘定 | 613 | 457 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 66 | 64 |
| その他の包括利益累計額合計 | 4,346 | 4,488 |
| 少数株主持分 | 4,998 | 4,990 |
| 純資産合計 | 109,840 | 111,729 |
| 負債純資産合計 | 1,462,183 | 1,432,262 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位 : 百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 86,809 | 84,577 |
| 売上原価 | 77,241 | 75,514 |
| 売上総利益 | 9,567 | 9,062 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,761 | 4,511 |
| 営業利益 | 5,806 | 4,551 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2 | 3 |
| 受取配当金 | 151 | 157 |
| 持分法による投資利益 | 59 | 77 |
| 投資収益 | - | 29 |
| その他 | 98 | 95 |
| 営業外収益合計 | 312 | 364 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 81 | 78 |
| 社債発行費 | 49 | 56 |
| その他 | 25 | 24 |
| 営業外費用合計 | 156 | 159 |
| 経常利益 | 5,962 | 4,756 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | 11 | 6 |
| 特別損失合計 | 11 | 6 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 5,950 | 4,749 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,306 | 3,098 |
| 法人税等調整額 | 935 | 1,400 |
| 法人税等合計 | 2,241 | 1,697 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 3,709 | 3,052 |
| 少数株主利益 | 121 | 103 |
| 四半期純利益 | 3,587 | 2,949 |

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 3,709 | 3,052 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 96 | 364 |
| 繰延ヘッジ損益 | 54 | 78 |
| 為替換算調整勘定 | 321 | 118 |
| 退職給付に係る調整額 | - | 1 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 169 | 22 |
| その他の包括利益合計 | 448 | 143 |
| 四半期包括利益 | 4,157 | 3,196 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 4,047 | 3,091 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 110 | 104 |

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

アズリード・ビジネス・コーポレーション(株)は清算したため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更等)

退職給付に関する会計基準等の適用

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従っております。なお、この変更による連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

| 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | | | 当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日) | | |
|---------------------------------|----|-----------|---------------------------------|----|-----------|
| (1) 営業上の保証債務(含む保証予約) | | | (1) 営業上の保証債務(含む保証予約) | | |
| (株)みずほ銀行 | *1 | 20,725百万円 | (株)みずほ銀行 | *1 | 19,734百万円 |
| Krung Thai IBJ Leasing Co.,Ltd. | *1 | 2,713百万円 | Krung Thai IBJ Leasing Co.,Ltd. | *1 | 2,806百万円 |
| みずほファクター(株) | *1 | 2,234百万円 | みずほファクター(株) | *1 | 1,984百万円 |
| その他35社 | | 3,388百万円 | その他37社 | | 3,531百万円 |
| 小計 | | 29,062百万円 | 小計 | | 28,056百万円 |
| (2) 営業以外の保証債務(関係会社及び従業員、含む保証予約) | | | (2) 営業以外の保証債務(関係会社及び従業員、含む保証予約) | | |
| Krung Thai IBJ Leasing Co.,Ltd. | | 9,345百万円 | Krung Thai IBJ Leasing Co.,Ltd. | | 11,440百万円 |
| 従業員 | | 383百万円 | 従業員 | | 353百万円 |
| 小計 | | 9,729百万円 | 小計 | | 11,793百万円 |
| (1)と(2)の計 | | 38,791百万円 | (1)と(2)の計 | | 39,850百万円 |
| 債務保証損失引当金 | | 70百万円 | 債務保証損失引当金 | | 73百万円 |
| 合計 | | 38,721百万円 | 合計 | | 39,777百万円 |

*1 (株)みずほ銀行他による金銭の貸付等について当社及び一部の国内連結子会社が保証したものであります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) |
|---------|---|---|
| 減価償却費 | 3,154百万円 | 2,511百万円 |
| のれんの償却額 | 28百万円 | 14百万円 |

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成25年6月25日 定時株主総会 | 普通株式 | 941 | 26.00 | 平成25年3月31日 | 平成25年6月26日 | 利益剰余金 |

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (百万円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|-----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成26年6月25日 定時株主総会 | 普通株式 | 1,194 | 28.00 | 平成26年3月31日 | 平成26年6月26日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 賃貸 | 割賦 | 貸付 | その他 | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|-----------------------|--------|-------|-------|-----|-------------|-------------------------------|
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 81,201 | 3,084 | 1,676 | 845 | - | 86,809 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 101 | 78 | 57 | 19 | 257 | - |
| 計 | 81,303 | 3,162 | 1,734 | 865 | 257 | 86,809 |
| セグメント利益 | 5,281 | 155 | 1,078 | 360 | 1,069 | 5,806 |

(注)1. セグメント利益の調整額 1,069百万円には、セグメント間取引消去 89百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 979百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自平成26年4月1日至平成26年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 賃貸 | 割賦 | 貸付 | その他 | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|-----------------------|--------|-------|-------|-----|-------------|-------------------------------|
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 76,407 | 5,545 | 1,879 | 745 | - | 84,577 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 74 | 134 | 56 | 20 | 285 | - |
| 計 | 76,482 | 5,679 | 1,936 | 765 | 285 | 84,577 |
| セグメント利益 | 4,210 | 123 | 993 | 294 | 1,069 | 4,551 |

（注）1. セグメント利益の調整額 1,069百万円には、セグメント間取引消去 82百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 987百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) |
|----------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 99円11銭 | 69円16銭 |
| （算定上の基礎） | | |
| 四半期純利益金額（百万円） | 3,587 | 2,949 |
| 普通株主に帰属しない金額（百万円） | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額（百万円） | 3,587 | 2,949 |
| 普通株式の期中平均株式数（千株） | 36,198 | 42,648 |

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 8月 6日

興銀リース株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 吉田 波也人 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 手塚 正彦 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 野根 俊和 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている興銀リース株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、興銀リース株式会社及び連結子会社の平成26年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。